

研修棟 1階

研修スペース

バックスペース

◆ 研修棟

研修施設は、受講者が予習や復習をするなど、「自らが学ぶ」意欲の後押しができる空間、現場での「課題解決能力」を養うための、考えたり議論したりできる空間、研修に来たことによってこそその「コミュニケーション」が図れるような空間とする

■ 1階の研修室では...

実習研修を観て、診て、観て、学ぶ座学中心の研修室

普段は30名対応の研修室を2部屋として使用しますが、3部門が全体で行う新入社員研修などの際には、可動間仕切りを開放することで、最大60名の研修室として使用することができます。



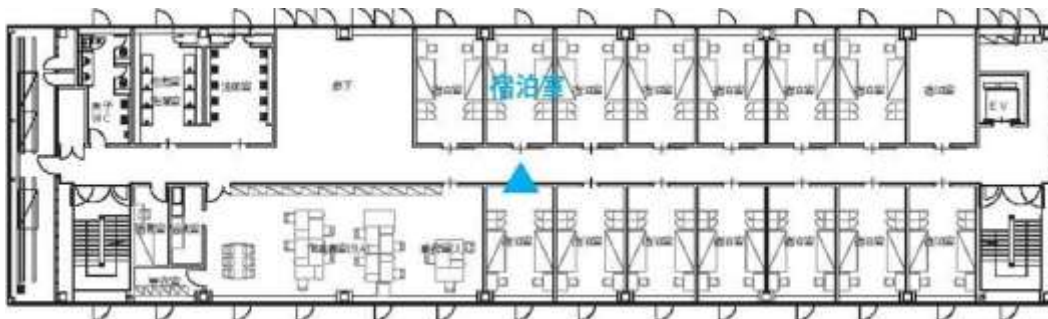
全体平面図



研修棟 2階

宿泊スペース

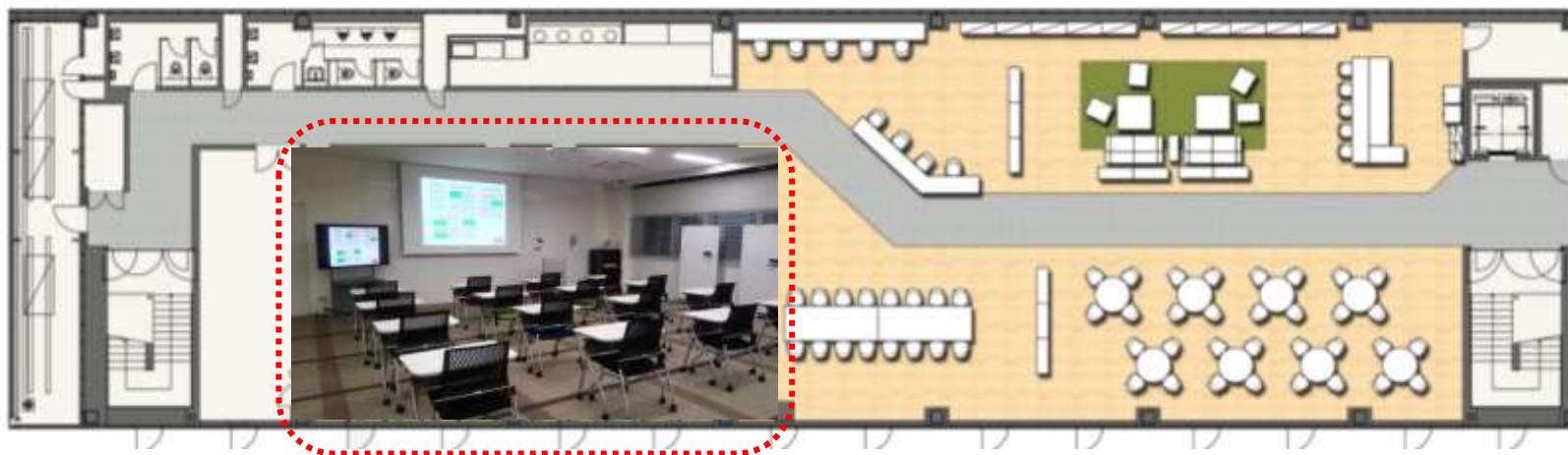
バックスペース



■ 3階の研修室では. . . 16名+16名(最大32名)に対応

講義とグループワークを交え、現場で使える技術が身に付く研修となるように、従来の研修とは異なるアプローチでの研修方法を検討しています。

そのため、研修室には積極的に ICT を導入し、従来の座学研修だけではなく、アクティブラーニング「能動的な学習」や PBL「課題解決型学習」でのグループワーク研修など、様々な研修スタイルに対応できる研修室としています。



講義→実践→まとめ→共有など様々なシーンに対応できる研修室



集中してまとめる場



短時間で集中して資料をまとめる場。壁に向かって一人学習やまとめ学習を行います。

情報を受信する場



個人ワークのカウンターであるが、歩く人と視線があい、また他者の議論を漏れ聞くことで気づきが得られる場所で学習を行います。

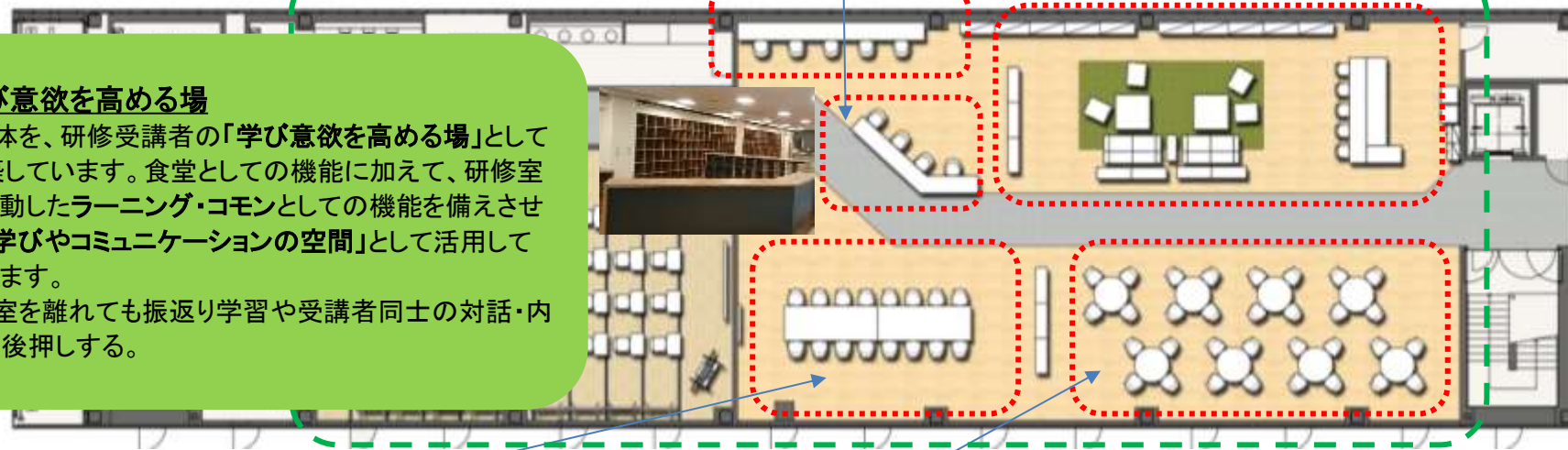
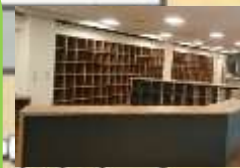
思いを共有する場



リラックスした雰囲気の中で、失敗談、成功談などを語る場。

学び意欲を高める場

・全体を、研修受講者の「学び意欲を高める場」として構築しています。食堂としての機能に加えて、研修室と連動したラーニング・コモンとしての機能を備えさせた「学びやコミュニケーションの空間」として活用していきます。
・教室を離れても振り返り学習や受講者同士の対話・内省を後押しする。



学びを再確認する場



食事をしながら学びを再確認する。研修室内とは違う環境で新たな発見や学びの共有をおこなう。自学自習の場として自由に利用可能。

情報共有の場



4～5人で食事をしながら情報を共有する場。円形のテーブルで話しやすく、6人程度の人数まで対応。